

第12回卒業証書授与式

令和7年2月28日

第12回卒業証書授与式を挙行政いたしました。保護者の皆様をお迎えし、そして在校生として2学年生徒にも出席してもらいました。

今回は、PTA会長様をはじめ、学校評議員様、市議会議員様、本校歴代校長様、関係小中学校の代表様、その他多数の皆様に参加いただき、PTA会長様には温かいご祝辞をいただきました。

見慣れたはずの青いスリッパ。3階から聞こえてくる笑い声。明日からはもう、そのいつもの姿を見ることができなくなってしまうのは大変寂しいですが、先輩方のような「アイデアいっぱいのおもしろく頼りになる人」になれるように頑張っていきたいと思ひます。

(「送 辞」より)

どんな時でも私たちの味方でいてくれた家族。朝に喧嘩をして謝れずに家を出ても、帰る頃には「おかえり」といつも通り温かく出迎えてくれる。大きな壁が立ちふさがった時は、その時一番かけてほしい言葉をくれる。家族がいたからこそ、前を向き続けることができました。

(「答 辞」より)

「あなたのこれからの人生」が、たくさんの「正解」に溢れた、「幸せ」に満ちたものなることを心から祈念いたします。ご卒業、本当におめでとう。



当日早朝の正門



学年団の先生も緊張の面持ち

尼崎市長、尼崎市市議会、尼崎市教育長、関係小・中学校長、国会議員、県議会議員、市議会議員、その他の皆様から多数のご祝電祝詞を賜りました。誠にありがとうございました。

(敬称は略させていただきました)





答 辞



送 辞



卒業証書授与



学年主任挨拶



最後の合唱 RADWINPS 「正解」

第12回卒業証書授与式 校長式辞

日ごとに寒さが和らぎ、ここ、園田の地にも、春の訪れを感じる今日の佳き日。本日ここに、尼崎市立尼崎双星高等学校第十二回卒業証書授与式を挙げていきますことは、私たち教職員にとりまして、大きな喜びでございます。

ただ今、晴れて卒業証書を手にした三四三名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんのこれまでの努力と研鑽を心から称えたいと思います。人生の中でも多感な高校時代を、ここ尼崎双星高校で過ごし、心身共に、大きく、逞しく成長しました。

遡りますと、皆さんは、令和四年四月に入学しました。新型コロナウイルスの流行は収まってはならず、慎重な行動が求められました。しかし、そのような中でも、「中止せずに実行しよう。コロナ対策をしながら。」と開催したホームルーム合宿を始めとし、何事にも辛抱強く取り組んできました。

そうして、皆さんが二年生になった年に、コロナ禍は新たな段階に入り、次第に伸びやかな学校生活が戻ってきました。

その中で、体育祭や文化祭などの学校行事では、全力で取り組みながらも、皆を楽しませようと笑顔で盛り上げ、気配りを見せてくれました。聞きますと、学年団の先生方が入学当初に「互いに助け合うことができる、優しい学年にしよう」と目標を掲げたとのこと、本当にその通り、思いやりに満ちた関係づくりに努め、それが学校中に広がっていきました。

そして、部活動にも全力を注ぎ、大会にコンクールにと、これまで積みあげてきた努力の成果をいかんなく発揮してくれました。全国大会、近畿大会など上位の大会への出場、また、入賞などの結果の如何に関係なく、本当に日々、一生懸命に、自分の選んだスポーツ、また文化活動に打ち込み、大きく成長しました。

加えて、皆さんは、校則の変更や、文化祭などの行事の在り方について、よりよいものにするため、力を注いだ学年です。生徒会を中心に、先生たちと議論し、また、全校生徒を巻き込んで、正しい方法で行動し成果を上げました。良い学校にしたいという思いを持ち、その思いを後輩たちに引き継いだ世代として私たちは記憶し続けたいと思います。

社会に目をやりますと、この三年間、パリの「オリンピック・パラリンピック」「サッカーワールドカップカタール大会」野球の「WBC」などが開催され、日本人選手が大いに活躍しました。皆さんの記憶にも残っていることと思います。見る人に勇気を与えようと奮闘した選手たちと、高校生活で日々健闘した皆さんの姿が重なって見えることもありました。

その皆さんは今、世界へと旅立っていかうとしています。

私は、かつて皆さんにこういうことを言いました。

人生の目的とは何か。私は、自分を高めながら、この世のために、人々のために貢献することだと思うと。だから、人の役に立っていると思った時、人は喜びを感じ充実感を持つのだと思います。違う言葉で表現するならば、「社会貢献」と「自己実現」です。

先の見えにくい時代であるかも知れませんが、そのような志を持って努力していけば、これからも人として大きく成長していくことでしょう。成長すれば、皆さんの活躍する範囲が広がります。そして、周りが皆さんを必要とするようになります。その中で皆さんは人々に何かを与え、また人々に囲まれながら幸せになっていくのです。皆さんには、是非そういう生き方をめざして行ってほしいと願っています。

さて、保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。高校卒業は、子育ての卒業ともいわれます。幼少期の、目が離せなかった幼いあの頃から、手塩にかけて育ててこられ、ご覧の通り立派に成長されました。幾多のご苦勞、そして思い出があったことだろうと推察いたします。私どもも日々の成長を保護者の皆様と一緒に見守ってこられ幸せでした。本校職員一同、至らないところもあったかもしれませんが、心の限りに努めてまいりました。この間、本校の教育活動にご理解を賜り、お寄せいただいたご厚情とご支援に対しまして、職員を代表し、心から御礼申し上げます。

また、ご多忙中にも関わりませず、PTA会長様、同窓会長様をはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席を賜りました。衷心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

最後に、皆さんに一つの言葉を贈ります。

世界的な物理学者、アインシュタインの言葉です

「人生には二つの生き方しかない。一つは、奇跡など何もないと思って生きる生き方、そして、もう一つは、全てのことが奇跡だと思って生きる生き方だ。」

この奇跡の星、地球。その星に奇跡のように生まれてきた一人一人の「あなた」その人生は、決して他に同じものはない、あなたにしか創り上げることができないものです。その奇跡の人生を、親からもらったかけがえのない命を大事に大事にしながら、しっかりと切り拓いて行ってください

さあ、いよいよ旅立ちのときです。

この尼崎双星高校から、広い世界へ、皆さんの飛躍を、すばらしい人生を心から祈念し、式辞といたします。

令和七年二月二八日
尼崎市立尼崎双星高等学校
校長 長澤 広昭